

2月23日 デモクラシー・ナウ
アイラ・ヘルファンドとのインタビュー
「ウクライナと核戦争のリスク」 (要約)

アイラ・ヘルファンドは IPPNW の前会長で、核兵器廃絶国際キャンペーンの国際運営委員。

最近“TheNation”に「ウクライナと核戦争の脅威」が掲載された。

インタビュアー (エイミー・グッドマン) のイントロダクション :

プーチン大統領がウクライナ東部の2つの分離地域の独立を承認した。バイデンはこれを「ロシアのウクライナ侵攻の始まり」と非難した。

ウクライナ東部の紛争では、過去8年間に14,000人が死亡した。今回、プーチンは、分離主義者が支配する地域に「平和維持」軍を派遣すると語った。

国連のグテーレス事務総長は、こう語った。

「ある国の軍隊が同意なしに別の国の領土に入るとき、彼らは平和維持軍ではありません」

ロシアの発表を受けたウクライナは、非常事態を宣言した。

米国は、800人の米軍兵士を搭載した8機のF-35戦闘機と20機のアパッチ攻撃ヘリをバルト海に派遣すると決めた。別のアパッチ攻撃ヘリ12機がポーランドに向かった。

戦争の可能性が高まるにつれ、ひとつの重要問題、「ウクライナをめぐる紛争は核戦争につながる可能性があるのだろうか」が浮かび上がってくる。

それはあメディアではめったに議論されないものだ。

.....
.....

Q: 今、何が危機にひんしているのだろうか？

ヘルファンド :

問題は多岐にわたります。重要なことは通常戦争がうまくいかない場合に、核兵器を使うオプションが机上に乗っていることです。核兵器が使用される可能性は排除されていません。

核が使用されたときの効果は壊滅的です。

100キロトンの原爆1つでもクレムリン上で爆発すれば25万人が死亡します。ワシントンの国会議事堂上で爆発すれば、10~17万人が死亡します。

これが核兵器となれば状況は壊滅的です。ロシアが持つ1,500の核弾頭のうち、300発が米国で爆発した場合、最初の30分で1億人が亡くなるでしょう。

国家と社会を維持するためのものはすべてなくなってしまうでしょう。これらは単なる直接的な効果です。

その後、世界的な気候災害になるでしょう。

1億5,000万トンのチリが大気に放出され、太陽を遮り、地球全体の気温を18度下げます。それは最終氷河期以来のものとなるでしょう。

生態系は崩壊し、食糧生産は停止し、人類の大多数は餓死するでしょう。

これが私たちが直面していることです。そして、核兵器の存在を許す限り私たちが直面し続ける危険です。

Q: そのような事態が現実となる可能性はどの程度のものか。

ヘルファンド:

可能性は至るところにあります。

ロシアには1,500の戦略弾頭、2,000の戦術弾頭があります。米国には1,500の戦略弾頭があり、ヨーロッパに100発の戦術弾頭が配置されています。その他英国には120発、フランスには280発の核弾頭が配備されています。

これらのどれもが核戦争を引き起こす可能性を持っています。

戦争が始まると「戦場の霧」と呼ばれるものが発生します。戦争前の計画はそれぞれ無関係になり、人々も軍隊も接触を失います。その結果、予期しないことが起こります。

バイデン大統領は、米国がウクライナに派兵する予定はないと述べていますが、絶対確実であるという保証はありません。

イラクでは大量破壊兵器はなかったのに戦闘が開始されました。米国が紛争前に描いた戦争計画とはまったく違った経過となったのです。

Q: プーチン発言の真意

問題は「不確実性」の一般的な議論にはとどまらない。2月8日にプーチン大統領は、ウクライナが NATO に加盟すれば、核戦争の可能性が高くなると警告した。これは確実な事実ではないか？

ヘルファンド：

彼の言明は微妙なものです。

...I want to stress this one more time. I've been saying it, but I very much want you to finally hear me and deliver it to your audiences in print, TV and online. Do you realize that if Ukraine joins NATO and decides to take Crimea back through military means, the European countries will automatically get drawn into a military conflict with Russia? Of course, NATO's united potential and that of Russia are incomparable. We understand that. But we also understand that Russia is one of the world's leading nuclear powers and is superior to many of those countries in terms of the number of modern nuclear force components. There will be no winners.

わたしは、この言明の鍵となるのは「勝者はいないだろう」ということだろうと思います。

双方が核の優位を巡って鞘当てするのは今に始まったことではありません。NATO とロシアはその境界線上で核保有軍の演習を繰り返しています。そして、核戦力を強化するために莫大な金額を費やしています。

これは率直に言って非常識です。私達が核の時代を生き抜いてこれたのは、幸運だったという理由だけです。そして各国の現在の政策も、本質的に幸運の継続への希望にのみ依拠しています。

Q： 原発攻撃ないし原発事故の危険

もう一つの核の脅威が原発への攻撃ないし誘発事故だ。

ウクライナのエネルギーはかなりの部分が原子力発電所によるものだ。1986年にメルトダウンが発生したチェルノブイリもウクライナだ。

ウクライナは合計 15 基の原子炉を備えた 4 つの原子力発電所を運営している。それらはすべて、チェルノブイリ 4 号機よりもはるかに古いものだ。これについての考えを聞かせてほしい。

ヘルファンド：

原発を破壊するには、戦闘で直接ヒットする必要はありません。福島で起こったように、電気が失われると、冷却障害とメルトダウンが発生します。

原子炉というものは、本質的に、私たちが作成して運用し、敵が爆発テロのために利用できる「潜在的な大量破壊兵器」です。

ウクライナは、電力の 50%をこれらの原子炉に依存しています。このために非常に困難な状況にあります。これらの原子炉は、紛争が広がると非常に脆弱になります。

いずれか 1 つでメルトダウンが発生すれば、直接的な放射線被爆、放射性物質で汚染された広大な地域、多くの被曝者、多くの死者、多くの癌患者が発生するでしょう。

Q： 最後に、核兵器廃絶の課題との関連についてご意見を

ヘルファンド：

私はバイデン政権に特に批判的であるというわけではありません。これは核兵器を持っているすべての政府の問題だと思います。

私たちはこれまでずっと、世界の指導者たちが核兵器の危険性に無知であることにショックを受けてきました。彼らの多くは、核兵器によって引き起こされる損害について無頓着です。

核そのものの危険性だけでなく、この無知と無頓着がもたらす危険性について指摘することは重要です。この点について指導者や一般市民を教育することは、特に医師の運動の重要な一部だと私は思います。

私たちが理解する必要があるのは、核兵器が私たちの安全に対する最大の脅威であるということです。

人間社会の一員としての私たちは、これらの兵器をできるだけ早く排除することを要求します。

私たちの運は永遠に続くことはありません。 私たちがそれらを取り除けなければ、遅かれ早かれ、これらの武器が使われるでしょう。

それを理解し、その理解に基づいて行動を起こさなければなりません。